



環境学習交流センターのイベント、岩手県で環境活動している人・企業の取組を今年10月開催する「エクスプローバー」環境ねほりはほり」今号の特集では「こどもエコクラブ交流会」についてイベントレポートをお送りします！

環境ねほりはほりは、みんなが知らないけど、知ったらちょっと楽しい情報をお伝えしていきます。

では、環境の世界へダッシュ！




私は、とても少なくなくなった生き物たちのすみ場所を作ってあげて生き物のにざわいをもとに仕事をしています。新しい生き物のすみ場所のことを「生態系」といいます。たぐさんの色々な生き物がめぐるように、浅い池や深い池、小川、湿ったぐさはら、乾いたぐさはら、そして田んぼも作りしました。こうして作った生態系にとても少なくなくなったサクラソウなどのきれいな花を植えたり、チョウチョが蜜を吸ったり幼虫が食べる植物を植えたりします。


池や小川には、ゲンゴロウやトンボの幼虫や、フシロウや魚が戻ってきました。田んぼも作りました。フシロウやバツなどいろいろな生きものが戻ってきました。

生態系は、ずっと管理していかないと生きものがもたなくなってしまうので、これからも楽しんでいきます。

環境学習交流センターの代表



たぐさんのおはなし




皆川千里さんの取り組み

「自然のゆかんかん」とはたぐさんの命がたぐいにつながり生きていくこと

令和5年度リデュース・リユース・リサイクル推進協議会賞状を授けられました！

環境への熱い思いをもっている皆川千里さんの活動を紹介します！普段は、農業を営んでいない野菜を作ったり売ったり、健康と食と自然のゆかんかんについて考えています。

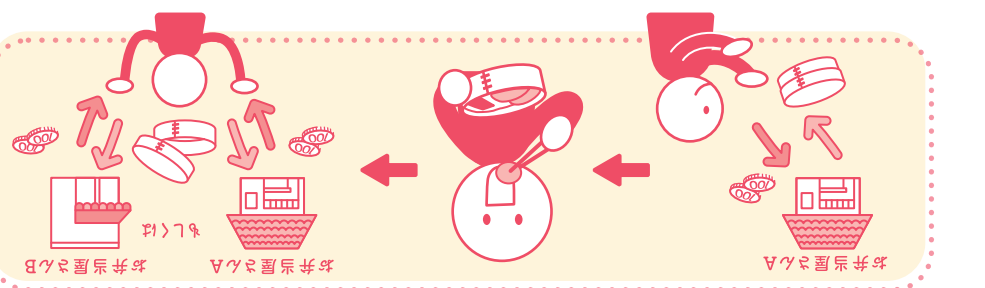
環境アドバイザー派遣（ミツロウ作り教室）

皆川さんは一般の方向けにミツロウ作り教室を行います。ミツロウとは何か？「ミツ」のお話、ミツロウはどのように環境に良いか話をします。ミツロウ作り体験も行います。

株式会社自然ライフのお店  
ちいさなね  
E-mail: chisanatanan@gmail.com  
Instagram: @reusenbento

親子で体験できる！  
農業体験・そば打ち・藍染め！

皆川さんは、そばと藍(あい)という植物を植えています。そばの体験の場合：7月種まき、9月お花見、11月以降そば打ち。藍染め体験の場合：5月種まき、8月生葉染め、10月以降藍染め。



お弁当箱リユースプロジェクト

素敵なお弁当を持って帰るのにお弁当を詰めてもらうプロジェクトです。曲げわっぱは洗って飲食店に返すと200円が返ってきます。曲げわっぱは参加店舗のどちらでも返却できます。こみが出ないだけで、飲食店の印象アップにもつながっています。

伝統的な器に入っている地元産の食材を使ったおいしいお弁当がおいしく、癒しだけではない環境にも良い貢献が仕上がりです！

## 環境学習交流センター

環境学習交流センターは、アイーナ(いわて県情報交流センター)を拠点に、環境に関するさまざまな活動を行っているところです。環境について学びたい方、活動したい方のサポートや、情報発信など、様々な活動をしています。

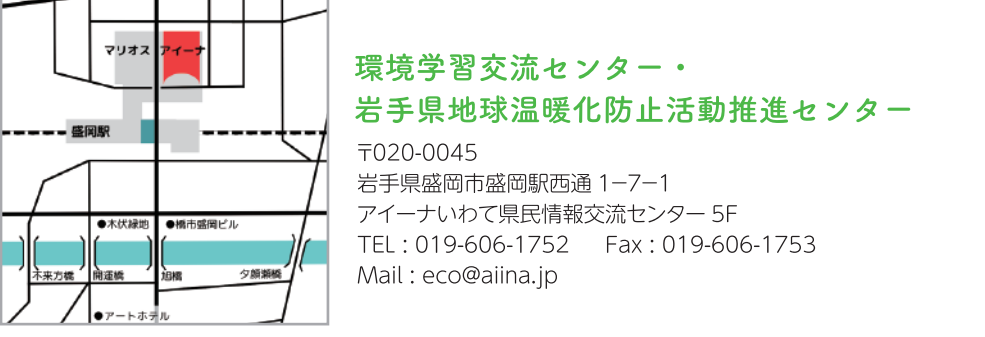
館内では環境に関する展示を行っています。大人も子どもも、見て、触れて、楽しみながら学べる内容となっています！



開館時間 9:00-18:00  
休館日 年末年始とアイーナ休館日  
入場無料

環境学習交流センターでは、岩手県内の環境に関する情報やイベント情報を発信しています。

● X(Twitter) @iwate\_eco  
● Facebook https://www.facebook.com/iwate.eco  
HPはこちら ● いわての環境ポータルサイト「Iwate-eco」 http://www.iwate-eco.jp/



## 環境学習交流センター

子どもエコクラブとは

幼児(3歳)から高校生まで誰でも入会できる環境活動のクラブです。親子・団体など会員同士の交流を深めるための自然体験イベント(エコクラブ交流会)に参加することができます。

環境アドバイザー派遣とは

県民の方が環境問題に関する研修会等を行う際に講師として環境アドバイザーを派遣します。講師の謝金や旅費は県が負担いたします。環境アドバイザーも随時募集しています。

環境学習講座

環境について感じ、考え、行動するきっかけになる

環境に関連する子ども向け、大人向け講座を各種企画・実施しています。様々な世代が交流しながら環境について学ぶことで、その後の意識や行動の改善につなげます。

訪問学習

参加者が主役となり、自ら考える

展示や体験グッズを使いながら、環境について学ぶプログラムを実施します。受け身の学習ではなく、自ら考え、気づいてもらうことを大切にしています。

出張環境学習会

遠方の方でも学べる！

県内各地のみなさまのもとへ、実験教材やパネルなど、たくさんのアイテムを持ってうかがいます！地域のイベントや学校の授業などにお役立てください。

## 地球温暖化防止活動推進センター

地球温暖化について知り、行動してみませんか？

地球温暖化防止活動推進センターは、岩手県内の地球温暖化防止に向けた取り組みをサポートするセンターです。主に地球温暖化・気候変動に関する情報発信や、普及啓発、学習・研修のお手伝い、活動団体の支援等を行っています。

いわてわんこ節電所

エコチェックアンケートに答えて、普段の生活で取り組んだ省エネ行動によるCO<sub>2</sub>削減量を知ることができます。

パソコンのほか、スマートフォン、タブレットからも参加できます！月に1回参加してみよう！

いわて地域脱炭素推進員の派遣

県民の方が地球温暖化についての研修等を行う際、講師としていわて地域脱炭素推進員を派遣しています。

省エネ・節電キャンペーン「いわてエコアクション」

省エネ・節電活動を応援するキャンペーンを年2回実施しています。詳しい応募要項等は、ホームページをご覧ください。

家庭のエコ診断制度「うちエコ診断」

うちエコ診断士による家庭のエコ診断を受診してみませんか？ご家庭に合った電気・ガス・水道代の節約術を診断士がアドバイスします。診断をご希望の方は、センターにご相談ください。

環境

ねほりはほり

「私たちが住む岩手のこと」

2024 #01

特集：こどもエコクラブ交流会

環境学習交流センター



# 芸術・食・エネルギー問題 について考える1日

2023年9月16日(土)、親子エコツアーを行いました。参加者は13名でした。大槌町(おおつちちょう)にある「東京大学大気海洋研究所」、「おおつち海の勉強室」見学&釜石市で初開催された「オーガニックフェスタ in いわて2023@釜石」に行ってきた様子をお伝えします。



## 1 大迫力の天井画にビックリ!

まず、東京大学大気海洋研究所大槌沿岸センター(以下「大槌センター」)の見学から始まりました。大槌センターに入ってすぐ、入口エントランスにある天井画【生命のアーキペラゴ】を、みんなで見上げました。この絵は、2018年に現代画家の大小島真木(おおこじま まき)さんが、TARA号という海洋調査船に乗り、太平洋の旅で感じた想いを描いたものです。

「海が生命にとって一番大切な場所であり、生命のスーパードというメッセージが込められている」と大槌センターの青山潤(あおやま じゅん)先生が説明してくれました。この絵から海、そして地球のダイナミックさを感じることができました。



天井画の説明を受けている子どもたち

アーキペラゴとは、たくさんの島が集まってできた大きな島のグループのことです。例えば、海や湖にあるたくさんの島が集まったら、それがアーキペラゴと呼ばれます。



絵を詳しく見たい方はこちらから↑

## 2 本物のウミガメにさわって、みんな大よろこび!



得意げにカメを持ち上げる子ども

大槌センター見学の後、みんなで歩いておおつち海の勉強室に移動し、まずはカメの身体測定をしている外の水槽を見学に行きました。そこで、大学院修士課程の黒田健太(くろだけんた)さんの指導のもと、カメにさわったり、持ち上げたりしました。すぐ得意げに持ちあげた子、こわごわ持ち上げた子、何度も持とうとしたけれどやっぱりちょっとこわくて持てなかった子、最初から手を出さない子、反応はいろいろ!!

## 3 海の勉強室では「オサガメ(はくせい)」がお出むかえ!

そしていよいよおおつち海の勉強室の中へ行くと、大土直哉(おおつち なおや)先生と甲長約1.2mの大きな「オサガメ」が待っていました。オサガメは最大で3mにもなる世界最大のカメの一種で、大槌周辺でも時々見られるそうです。

続いて「オオヨツハマゴニ」を見ました。これは大土先生が発見した新種のカニです。北海道・三陸地方の藻場(もぼ)に生息していて、エゾアワビやウニ類の稚貝を食べるそうです。藻場とは、海や湖の中にある藻という植物がたくさん生えている場所のことです。

大土先生は、藻場の生き物を調べることは、大槌の海のことだけでなく世界の海、そして地球全体を調べることに繋がっていくと強調されました。



はくせいのオサガメ



オオヨツハマゴニを見ている親子

## 4 使用済み天ぷら油で車が走る?! そんなことあるんだね!!

釜石市の根浜海岸にバス移動し、環境・農業・福祉がテーマのオーガニックフェスタ in いわて2023@釜石を見学した後、山田周生(やまだ しゅうせい)さんから、ガソリンの代わりに「使用済み天ぷら油」で走ることができるBDF(バイオディーゼル・フューエル)車の話を聞きました。



山田さんの話を聞いている様子

山田さんは東日本大震災の前に、使用済み天ぷら油を各地でもらいながらBDF車で世界一周をし、次は日本を回ろうとして通りがかった岩手で東日本大震災にあったそうです。

当時、ガソリンが手に入らず一般の車は自由に動けなかったのですが、てんぷら油で動けるBDF車は救援活動などに大活躍したとのこと。

それがきっかけで、現在、山田さんは岩手で自然体験活動やコミュニティ活動のサポートなどを続けているそうです。



こどもエコクラブ交流会は年1回開催しているので、ご興味がある方は、ホームページのこどもエコクラブ最新情報やイベント情報などをチェックしてください。

## 森に行こう! 森で遊ぼう!

スタッフが秋の森フェス 2023 in 遠野に行ってきました!



森の音が聞こえたよ!

### 森で遊ぶと楽しいよ

森での遊びは、たき火を囲んで手をつないで踊ったり、シーソーやブランコで楽しんだり、枝を使って新しいものを作ったり、自由に遊ぶのが最高! 森の中での体験は本当に楽しくて、最高の思い出ができるよ!



たき火を囲んで踊る参加者



たき火であたたまる参加者

### 五感を使って森を楽しめるよ

雨の日の森は特別。木の色があわけて美しいし、土のいい匂いがするよ! たき火のポキポキ音や雨のささやき、温かい火のぬくもり、すんだ空気が気持ちいいな。森って、五感でいっぱい楽しめるね!

### 木を使ってトレーを作ることも楽しいよ

みんな、木でトレーを作れるって知ってる? 私は枝を使ってトレー作りをしたんだ! 木の種類によって色や、やわらかさが違うんだよ。トレーを作りながら、木の感触や香りを感じて楽しかったな。木ってすごく使える素材だね!



木のトレーを制作中

### 木を使うのは大事だよ

その日はバンド演奏もあったんだ! デクノボーブラザーズっていうバンドで、木の歌を歌ってたんだ。「ま〜きまきまき」と歌って、すごくキレイな声だったよ。木を使うって大事なことなんだって、彼らの歌で改めて感じたな!



デクノボーブラザーズ

### みんなへのメッセージ

森ってすごく楽しいんだよ! 遠野エコネットの「森フェス」ってイベントが夏と秋にあるんだ。みんなも一度森に行ってみてね! 雨の日でも行われる場合は、カッパと長靴を忘れずにね。きっとたくさんのワクワクが待ってるよ!

## いわて環境学習応援隊の紹介

### 森の中に作った虫のホテル、その名は「インセクトホテル」!

いわて環境学習応援隊とは?



雫石町にある盛岡セイコー工業株式会社は、おもに高級機械式腕時計を作っている会社です。生き物を大切にするため、会社の中の森に「インセクトホテル」を製作しています。



インセクトホテル全体の様子とホテルの1室を手に持ち説明をしている佐藤さん

### 3 インセクトホテルは何でできているの?

木の枝、わら、穴を開けた丸太、まつぼっくり、すすき、レンガ、竹など自然の中にある身近な素材を使っています。

### 4 インセクトホテルを作るにあたって気をつけていることは何?

例えば竹のつつについては、さまざまな虫の種類に合わせて、好みそうな穴の大きさや深さのものを使っています。

### 5 人間にとってインセクトホテルを作ると良いことはあるの?

虫が増えると、自然がゆたかになり人間の生活にも役立つことがたくさんあります。例えばハチが花粉を運んでくれるおかげでリンゴの実がなって、私たちはリンゴを食べることができるんですよ。このホテルは虫を守り、増やすことにつながります。

### みんなへのメッセージ

春から秋にかけて、インセクトホテルがある「わくわくの森」などの見学を歓迎しています。木や植物なども楽しめるかもしれません。夏には、特別な「わくわく環境教室」を開催していて、夏休みの自由研究にピッタリです。保護者の方も一緒に参加して、楽しいお話や学びの時間を共有できます。ぜひ、みんなで遊びに来てくださいね!

見学などのお問い合わせ先: 019-692-3511 盛岡セイコー工業株式会社

